

巨釜半造

巨釜半造は、碁石海岸の南西約 15km に位置する唐桑半島の東海岸にある地域です。この地域は、2 億年前に形成され、その後波によって様々な形や大きさの地形に削られた風光明媚な石灰岩の岩礁で知られています。その中には「折石 (broken stone)」という幅 3 メートル、高さ 16 メートルの石柱も含まれます。元々はさらに 2 メートル高かったこの石柱は、1896 年にこの海岸を襲った大津波でその先端が欠けてしまいました。また、巨釜半造は、夏にはニッコウキスゲ、秋にはハマギクなど、色とりどりの野草が咲き乱れることでも知られています。